

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「エッグ・ランナー」

テーマ：「百合なのに、卵生な美少女」

キャラクター

40

ストーリー

45

テーマ(設定)

50

文章力

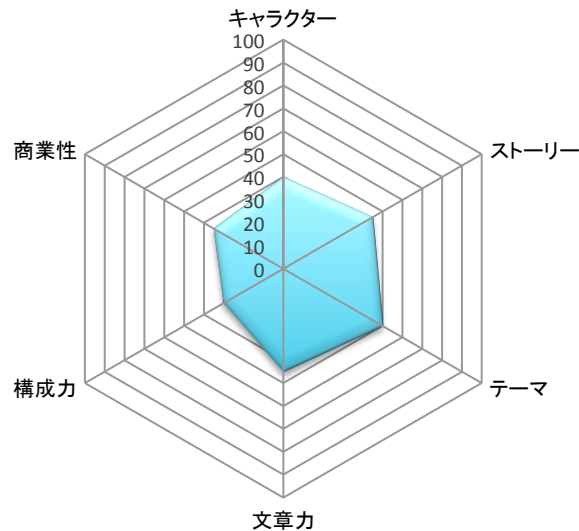
45

構成力

30

商業性

35



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・会話のテンポが絶妙で、地の文なしに会話だけでも楽しめてしまう点は素晴らしいと感じた。個人的には「Google」あたりのやりとりが突っ込みどころも多くかつキャラの面白い心情変化なども見られ、非常に面白かった。また「卵」については賛否両論があると考えられるが、個人的にこの設定は読者に想像の余地を残す面白い要素であると思う。ただいささか登場が唐突であるため、作品全体に渡って卵というワードをうまくからめていけばなおよかったのではないかと感じた。

・一文が長く、一度読んだだけでは文章の内容が理解できないことがたまにある。長い文は「本当に自分が伝えたいことが自分でも分かっていない」状態のあらわれとも言えるので、まず自分が何を伝えたいか箇条書きにしてからそれを短く表現する訓練を行うか、どうしても長ければ二文にわけろ工夫を施すのがよいと思われる。

・作者様の頭の中には精巧な設定(病室の様子、登場人物らの性別から身長、性質など)が組み立てられていると思われるが、それらを説明する描写が少な過ぎるあまり読み手から見ると設定が穴だらけであるように感じてしまう。説明に関しては文章を増やして欲しいと感じた。

たn 0

総得点： 245 / 600

B方式総合得点： 10004 点